



# 一 誠

■■ 学校の教育目標 ■■

- よく考え進んで学ぶ子
- 明るく心の豊かな子
- じょうぶでたくましい子

令和7年8月22日

## 「点滴穿石（てんてきせんせき）」

校長 佐藤 裕哉

長い夏休みが明け、いよいよ実りの2学期が始まりました。この長い学期のスタートするにあたり、学校として「点滴穿石（てんてきせんせき）」を意識してまいります。この言葉は、軒下から落ちる小さな雨だれも、長い時間、同じ場所に落ち続ければ、やがては硬い石にさえ穴を開けてしまう。つまり、小さな努力の積み重ねが、いつか大きな成果につながるという意味です。

7月27日にイチローさんの MLB 野球殿堂入りの表彰式が行われましたが、彼の野球への向き合い方がまさに「点滴穿石」だったと思います。彼が打った世界最多の 4367 本というヒットは、決して天才的な才能だけで生まれたものではありません。試合のある日は、朝起きてから球場入りし、準備運動、打撃練習に至るまで、毎日寸分違わぬルーティンを続けたといいます。イチローさんは、こう言っています。「小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただ一つの道だ」。

2学期は、子どもたちが毎日の積み重ねを大事にできる学校生活、教育活動を送ることができるよう、教職員一同でしっかりと根気良く支えてまいります。そして2学期末に、子どもたちの大きな成長が見ることができるよう、期待したいと思います。



夏休み中に校庭の樹木を伐採していただきました。中には朽ちているものもありました。9月中旬には歩道沿いにツツジの木を植樹予定です。